

かつてないほどの速さで人々の意識や経済情勢が変化する今日の社会では、企業、地域、都市、国家などがそれぞれのレベルで新たな課題を抱え、変革を模索しています。日立グループも、みずから課題意識を持って改革に取り組むとともに、社会イノベーション事業の推進に注力しています。

社会イノベーション事業は、単に機器やシステムを提供することではありません。社会やお客様が抱える課題を共に探り、共に解決の道を見だし、さまざまなインフラ技術やIT（情報技術）を組み合わせるソリューションを提供していく活動であると言えます。

お客様との対話や協創を進めるうえで前提になるのが、技術面での豊富な知見です。また、明らかになった課題を解決するときにこそ、確かな技術の蓄積は欠かせません。そのような観点から、本号では、私たち日立グループが培ってきたさまざまな技術や、それらを支える研究開発の一端をご紹介します。最先端の開発を支える解析・シミュレーション技術をはじめ、エネルギー消費効率の最大化や安定供給、ビッグデータ時代における安全確保や情報処理の高速化、装置・製品の信頼性向上や高付加価値化などに資する多彩な技術を取り上げました。さらに、中長期的な視野から取り組む先行的な研究では、社会潮流から未来のシナリオを描き、お客様と将来ビジョンを議論・共有したうえで研究テーマに展開する試みも始めています。

これらはいずれも、顧客起点による研究アプローチへの変革、サービス事業の拡大、ナンバーワンプロダクト事業の強化といった、日立グループのR&D（研究開発）の重点施策に即した取り組みでもあります。広範な事業領域でのR&Dを進めることは、多くの発見や学びをもたらし、応用技術を進展させ、やがてはグローバルなイノベーションの実現につながっていくものと考えています。

本号をぜひご一読いただくとともに、読者の皆様のお役に立てていただければ幸いです。



日立製作所
執行役常務
CTO 兼 研究開発グループ長

小島 啓二